

令和3年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社ヤマムラ	代表者	竹谷 陽子	法人・事業所の特徴	「すべてにありがとう。」を合言葉に、利用者様に寄り添い、落ち着いたきめ細かなサービスを提供しています。 カンファレンス、ミーティングをこまめに行い、利用者様のケアを見直し、安心できる質の高い介護を行っています。
事業所名	小規模多機能ホーム おひさま	管理者	古閑輝見子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	4人	人	1人	1人	人	3人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>○事業所自己評価の取組み改善計画の取組みについて前回同様運営推進会議の委員から高い評価を受けている。</p> <p>○このことを踏まえ、今回も事業所自己評価における次回までの具体的な改善計画の実行に真摯に取り組む、目標達成に良いケアのため努力したい。</p>	<p>○スタッフ全員が改善計画を把握して、より良い介護施設を目指しておられることがよく分かりました。</p>	<p>○各スタッフの評価を件数で示しており、スタッフの率直な評価を知ることが出来て分かりやすい。</p>	<p>○スタッフそれぞれの自己評価での改善点について話し合う機会を作り（例えばスタッフミーティング）、意見交換をすることでより良いサービスに繋げる。</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<p>○事業所のしつらえや環境については、今回も運営推進会議委員の皆様の評価が高い、今後も前回同様、高い評価の期待に反しないよう努力していきたい。</p>	<p>○花、写真、絵画が要所々に飾っており、居心地の良い場所になっている。</p> <p>○事業所内で嫌な臭い等を感じたことはありません。快適な環境だと思います。</p> <p>○事業所内は鍵もかかってないし、入りやすい環境だと思います。</p>	<p>○来所者が気軽に入りやすく、スタッフもいつも気持ちよく挨拶してください。</p> <p>○事業所も家庭的な雰囲気、利用者も心地よく過ごせると思います。</p>	<p>○事業所のしつらえについては毎年度、運営推進会議委員の高い評価を頂いており、今後も新型コロナウイルス等の感染対策を意識した空間作りを行い、事業所を訪れるすべての人にとって居心地がよく、安心安全で清潔な事業所作りを行う。</p>
C. 事業所と地域のかかわり	<p>○引き続き、サロン活動に、他事業所とともに積極的に参加する。</p> <p>○コロナ禍で「おひさま夏まつり」は中止したが、次回はぜひ開催したい。</p> <p>○「おひさま」を知ってもらうために、「おひさまミニ広報紙」を発行し、地域に配布する。定</p>	<p>○職員の方は、皆さんいい感じです。事業所はとても相談し易い所で、頼りにしています。</p> <p>○行事やイベントはコロナ禍で難しいところもありますが、事業所は、向山サロン、コスモスサロン、世安学園での地域行事に参加されています。</p>	<p>○鳳鳴こども園とのカライモ掘会を企画したり、地域のサロンや、老人会での講話や、レクに参加されたりして積極的に地域との関りを持たれていると思います。</p> <p>○地域の方にもっと知ってもらうために、地域の人を交えた行事や、事業所の見学会等を企画されたら良いと思います。</p>	<p>○新型コロナウイルスの感染状況を確認しながら、地域のサロン活動に他事業所とともに積極的に参加したり、地域行事への参加を検討していく。また、ボランティアの受け入れも同様に検討していく。</p> <p>○「おひさま」を知ってもらうために、「おひさまミニ広報紙」を</p>

	<p>期的に発行できるよう努力したい。</p>		<p>○「おひさまミニ広報紙」の発行は、とても良い試みだと思います、「おひさま」が地域の皆様方の身近なところにあることを知らせるためにも、ぜひ実現してください。</p>	<p>発行し、事業所の活動を発信していく。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>○前回に続き、利用者の、地域イベントへの参加、食事・買い物等の外出に積極的に取り組む。 ○「近所の心配な方」の情報を、運営推進会議委員の方等から収集し事業所がかかわることに取り組みたい。</p>	<p>○運営推進会議はとても役に立っています。 ○一方的な会議ではなく、小さな事でも各委員の方からの相談、意見を出して皆で話し合うこともいいかと思えます。 ○近所の心配な方の情報を運営推進会議の中で収集されている。 ○コロナ禍で、地域の氏神様の行事に、スタッフのみの参加があった。</p>	<p>○地域の高齢者向け行事に参加され、事業所のアピールや相談等を受ける機会を持たれたらいいと思います。</p>	<p>○地域の行事等の情報収集を行い、新型コロナウイルス感染症対策に配慮した上で交流する機会を確保する。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>前回同様に、 ○事業所の取り組みについては、ご理解いただき、おおむね良い評価であることから、引き続き、取り組み方について説明に努める。 ○地域の心配な方等の情報収集に努め、運営推進会議で事例検討会を開き、委員の皆様で話し合い、おひさまのご利用につなげる。 ○今まで以上に、運営推進会議で出た意見を、運営に生かしていく。 ○事業所の活動に、運営推進会議の委員さんの手助けを積極的に頂く。</p>	<p>○運営推進会議では、事業所の取り組みは詳しく説明されているが、地域での取り組みまでは、時間的に足りないと思う。</p>	<p>○運営推進会議の中での研修、動画セミナーはとてもためになります。 ○利用者の状況や日頃の活動状況等をわかりやすく説明されており、運営推進会議に参加することで事業所の取り組みをしっかりと理解することが出来ました。</p>	<p>○事業所が地域資源として地域住民に活用してもらえるよう、運営推進会議を有効活用していく。</p>

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>○既存の非常災害対策計画に洪水時の避難確保計画を追記して、「改定 おひさま非常災害対策計画」を策定する。これによって年2回の防災訓練を実施する。</p> <p>○災害時の緊急対応のために、地域の消防団・自治会と綿密に連携し、協力体制を構築する。</p> <p>○おひさまの建物が平屋のため、洪水時の避難場所の確保が必要であり、近隣に避難場所を確保する。</p>	<p>○洪水時の避難場所を近隣の保育園に確定されている。</p> <p>○地域の消防団の訓練見学に参加されている。</p> <p>○近隣の方が消防団長であるので、協力体制を構築しやすい。</p> <p>○事業所の防災訓練に機会があれば参加したい。</p>	<p>○正直不安です。</p> <p>「おひさま非常災害対策計画」を自身で把握しておくべきと思いました。</p>	<p>○「改定 おひさま非常災害対策計画」の策定を了したので、これによって年2回の防災訓練を実施する。</p> <p>○災害時の緊急対応のために、地域の消防団・自治会と綿密に連携し協力体制を構築する。</p> <p>○おひさまの建物が平屋のため、洪水時の避難場所の確保が必要であり、隣接の鳳鳴こども園を避難場所とした。今後、避難場所までの避難経路を移動しながら確認する。</p>
----------------------------	---	---	--	---